

街道を歩く

中山道：呂久西赤坂宿一青墓



宿碑と道標

赤坂宿 (美江寺より2里8町)

宿往還道は池尻村から屋飯村までの12町16間、町並みは7町18間。谷汲巡礼街道の分岐点があり賑わったという。文久元年(1861)和宮降嫁の時は荒れて見苦しいとのことで嫁入普請が大規模に行われたという。今の美濃赤坂駅一帯は刀剣の鍛冶屋町であった、関の孫六の出身地。

青墓

東山道の宿駅で平安末期から鎌倉時代にかけて遊女や傀儡師がいた事で知られている。長者大炊家は源氏と縁が深い、平治の乱で敗れた源義朝、長男義平次男朝長、三男頼朝を匿う、朝長はここで亡くなる。

よしたけ庵

義経が平泉に逃げる途中杖代わりにしていた藁を突き刺したところ竹になったという。

円願寺跡
よしたけ庵

青墓町

白鬚神社

延長寺

照手姫水汲みの井戸

鎌倉時代 浄瑠璃で有名な「小栗判官」に出てくる照手姫が青墓の長者に売られつらい水汲みをした場所と言われている。



大塚古墳

岐阜県最大の前方後円墳(全長140m) 12代景行天皇皇子大碓子の墓と推定される。



金生山明星輪寺(こくどうさん(宵))

持統元年(687)役行者が創建。伊勢朝熊(朝)、京都嵯峨(昼)と並んで日本3大虚空蔵で知られている。平安末期の木造地藏菩薩半か像が安置されている。



本陣跡



壬申の乱(672)に矢疵を負った大海人皇子が矢の根川の水で傷口を洗ったところ治癒したのでこの川の名を「苦医瀬川」と呼び今は「杭瀬川」と呼ぶようになった

慶長5年(1600)関ヶ原の戦いの時家康の本陣が構えられたところ合戦で勝利した家康は岡山を勝山に改めた。壬申の乱址碑もある。安楽寺は聖徳太子創建、家康より三つ葉葵の紋を許された古刹境内に大谷吉継の陣鐘あり。



お茶屋敷

家康は関ヶ原合戦勝利後中山道に4里毎將軍専用の宿泊所を設けた。城郭様式を偲ぶ土塁、空濠が残っている ボタン園が開放されている。



赤坂港跡

安藤広重の赤坂港、放浪画家蓑虫山人の赤坂駅図の面影はない。昔は金生山の石灰、西美濃の産物、桑名からの海産物で出入りの船は数百隻を数え賑わいだったとか、今は公園になっている。

